



本戦略は、「地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律」（生物多様性地域連携促進法）に基づく「地域連携保全活動計画」です。

平成31年3月発行

能勢町 環境創造部 地域振興課 産業振興係

〒 563-0341 大阪府豊能郡能勢町宿野28

TEL : (072)734-0001 FAX : (072)734-1545

E-mail : sinko@town.nose.osaka.jp

<裏表紙写真>

アオバスク	カンサイ タンポポ	長谷の クリ林
銀寄	ヒロオビミ ドリシジミ	タガメ
フデリンドウ	サシバ	台場クヌギ
クリの花と コアオハナム グリ	トノサマ カエル	ニオイタチ ツボスミレ

「能勢の里山活力創造戦略」

～ 生きている里山で、災害に強く、活力ある、自然豊かな地域づくり ～

(能勢町生物多様性地域連携保全活動計画)

【概要版】



平成31年3月 策定

能勢町

(能勢の里山活力創造推進協議会)

① 能勢町の里山の「素晴らしさ」を活かしませんか？

栗栽培やほだ木採取等、「生業」を通じた管理^{なりわい}によって「活きた里山」が維持され、大都市近郊にも関わらず国内でもトップクラスの豊かな生態系を誇ります。

また、里山資源を日常から使っていた先人の知恵が今なお残る地域です。

この「里山資源」と「先人の知恵」を踏まえた「時代に合った」里山の活かし方により、活力ある能勢を目指しませんか？

② 能勢町の里山資源とは？

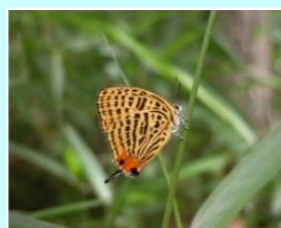
豊かな里山を持つ能勢町の地域資源の一つです。ここでは以下の4つにまとめました。

資源1 里山資源を活かした災害からの回復力・復元力の高さ (グリーンレジリエンス※1)

- ・ 災害時でも生活を維持できる豊富な里山資源と、資源を使うための「先人の知恵」が残っています。

資源2 今なお人々に利用され、生物多様性豊かな里山

- ・ 生業を通じた里山資源の管理と利用による「活きた里山」が現存しています。
- ・ 大都市近郊にも関わらず、希少な生きものが多数生育・生息し、国内でもトップクラスの豊かな生態系を備える里山があります。



希少な生きもの
(ウラナミアカシジミ)



特産品である銀寄

資源3 豊富な農産物や林産物

- ・ 能勢町の里山を代表する特産物である「銀寄」や林産物が豊富にあります。

資源4 都市近郊の立地とグリーンツーリズム※2の要素となる豊富な地域資源

- ・ 都市住民が観光や環境保全活動等に参加しやすい立地です。
- ・ グリーンツーリズム等での要素になりうる訪問先や、里山資源を活かした料理等の生活文化が豊富にあります。

※1 グリーンレジリエンスとは？

自然が持つ機能を活用し、地域の自然の豊かさを向上させることで、災害による人命や財産への影響を軽減させる考え方です。

里山の木々から薪を作り、緊急時の燃料とする →



能勢町の里山景観 (田尻地区)

能勢町の里山とは？

能勢町の里山では、斜面地に分布するクリ林とその背後にある雑木林、そして棚田や集落が一体となった、他の地域では見られない独特の景観が形成されています(くり山と呼ばれます)。

能勢町の里山は今なお管理・利用され、生物多様性だけでなく、独特の里山景観や生活文化等の「里山資源」が維持されています。

③ 里山資源の活用を妨げる課題

里山資源を活かすために、解決しなければならない課題もあります。

課題1 管理放棄された農地や林地の増加 ⇒ 資源1～3に影響

- ・ 農家や林業家の減少、林産物の需要低下により、管理放棄される里山が増加しています。



管理放棄されたクリ林

課題2 獣害の顕在化 ⇒ 資源1～3に影響

- ・ ニホンジカやイノシシによる、落果したクリや苗木への被害が増加しています。
- ・ クリ林等の林床への食害により、多くの生きものが生育・生息する草場が減っています。



水田に現れたニホンジカ

課題3 里山の資源を使う生活文化が次世代に継承されていない ⇒ 資源1～4に影響

- ・ 里山資源の利用法(銀寄栽培や木材生産の方法等)が継承されていません。

課題4 グリーンツーリズム※2を推進する体制の未整備 ⇒ 資源4に影響

- ・ 豊かな自然資源や、都市近郊であるポテンシャルを産業に活かしていません。

※2 グリーンツーリズムとは？

緑豊かな農山漁村にゆっくりと滞在し、訪れた地域の人々との交流を通じて、その自然、文化、生活、人々の魅力に触れ、農山漁村でさまざまな体験等を楽しむ余暇活動のことです。



④戦略の目標：未来に伝えたい能勢町の里山像

里山資源を活かし、課題を解決した「未来に伝えたい能勢の里山像」の目標を以下に示します。概ね10年後の実現を目指します。

目標1 『グリーンレジリエンスを活かした災害に強いまち』

- ・里山資源が適切に維持管理され、町民誰もが里山資源の使い方を理解し、災害時には里山資源を用いて、ライフライン等の被害からいち早く回復できる体制が整っています。

目標2 『都市近郊にあって生物多様性の高いまち』

- ・里山資源の利用が活性化し、管理放棄された里山に再び人の手が入り、生物多様性の豊かな里山が町の全域に広がっています。
- ・近隣都市の住民が、生きものとの触れ合いやグリーンツーリズムの場として町に訪れています。

目標3 『活力ある農林業のまち』

- ・クリ栽培等、能勢町の農林業は生物多様性とお互いに関係し、大きな意義と価値があることを町民皆が理解し、農林業に誇りを持っています。
- ・植林を含む里山林が適切かつ健全に維持管理され、そこから農林産物を収穫することが、能勢町民の生業として成り立っています。
- ・農林業の伝統的な知恵や栽培技術が次世代に引き継がれています。
- ・林業を生業とする新しい試み（木の駅等）が実施され、林業者の所得向上に寄与しています。

目標4 『里山資源の魅力を発信するまち』

- ・くり山を中心とした「能勢らしい」里山風景が保全されています。
- ・里山資源を活用した生活文化が次世代に継承されています。
- ・里山資源を活かした新しい産業（グリーンツーリズム等）を通じて、能勢町の里山資源の魅力が広く発信され、都市住民等が能勢の里山資源に注目し、経済性を伴った里山資源の利活用に繋がっています。



⑤目標の達成に向けた施策の策定

「未来に伝えたい能勢町の里山像」の実現のために、現在取り組むべき行動をまとめ、目標達成に向けた4つの施策を策定しました。

施策1 グリーンレジリエンスの向上（災害に強いまちづくり）

- 1-1 災害時や避難時に使用できる水源地の把握・維持
- 1-2 薪ストーブの導入や「木の駅」と連動した薪備蓄の推進
- 1-3 災害時に里山資源を活用するための地域コミュニティの拡充
- 1-4 里山資源を活用した防災訓練の実施



施策2 里山資源を支える生物多様性の保全

- 2-1 生きもの調査の実施と情報整理および「能勢の生きものマップ」の作成



ササユリ



三草山

施策3 農林業の活性化

- 3-1 クリ林の活性化と遊休地の有効活用
- 3-2 能勢材の利用拡大
- 3-3 獣害対策の強化



栗栽培講習会



合成樹脂製
サークルネット

施策4 里山資源の魅力発信

- 4-1 里山資源およびその利活用法に関する情報の記録・整理
- 4-2 グリーンツーリズムの振興



モデルツアー候補地例
(真如寺)



モデルツアーの
イメージ

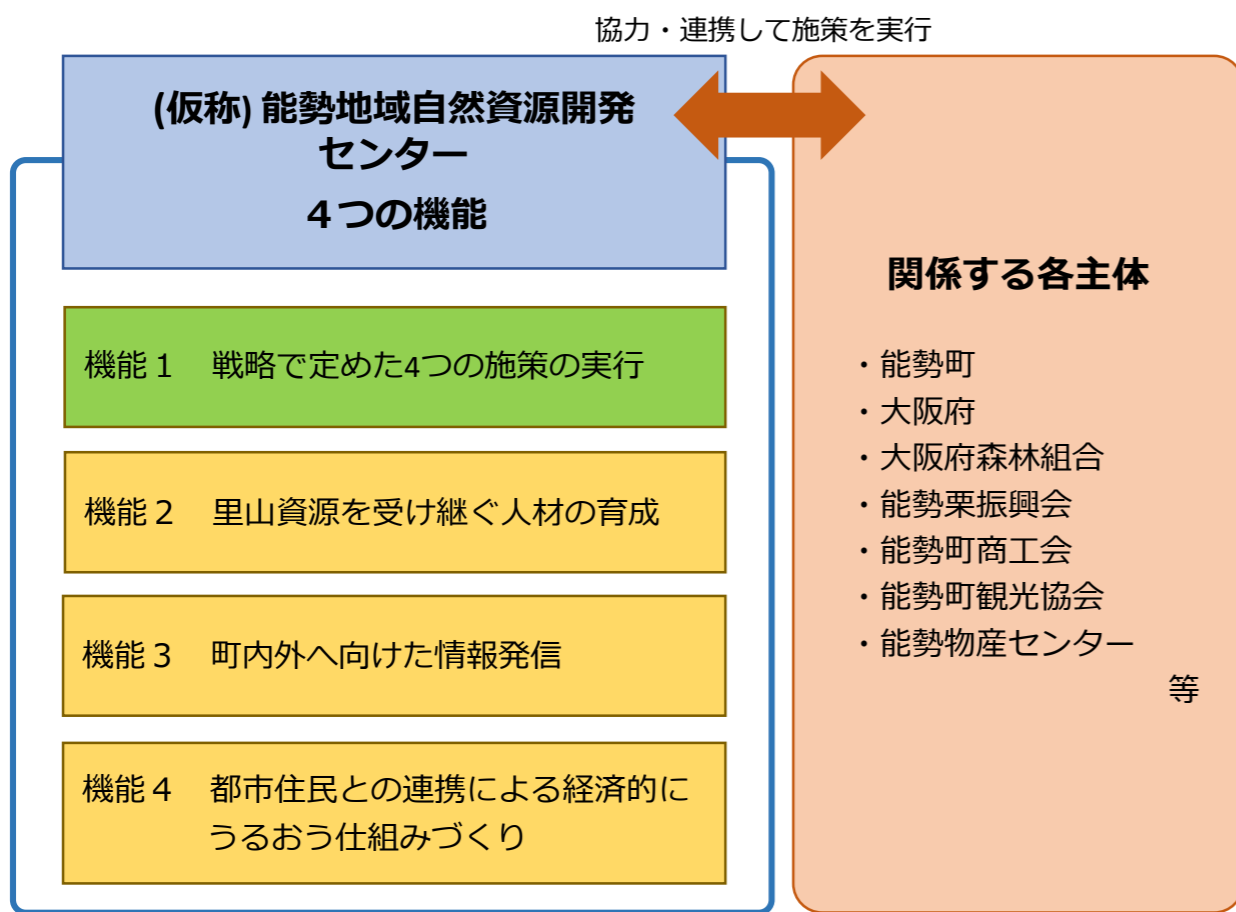
⑥ 施策の推進のために

4つの施策（4ページ）を推進するためには、生物多様性に関わる様々なニーズに対応する、多様な主体が関わる組織・体制が必要です。

そのために「(仮称) 能勢地域自然資源開発センター」の設立を目指します。

このセンターは大きく分けて4つの機能を持ち、施策の推進に向けて中心的な役割を果たします。特に施策の実行にあたっては、関係する各主体と協力・連携しながら取り組みます。

さらに、施策を実行する中で都市住民と連携し、能勢の里山資源を活用した経済的にうるおう仕組みづくりを目指します。



⑦ 里山資源活用のための地区と重点施策の設定

町内の各地区にある特徴的な里山資源を整理し、施設の性質と資源の関係性から、重点的に取り組む施策を各地区で選定しました（右表）。

なお、グリーンレジリエンスの向上（施策1-1～1-4）や獣害対策の強化（施策3-3）、里山資源に関する情報収集（施策4-1）に関しては、目標や施策の性質上、町全域で取り組む必要があるため、町全域を対象とする重点施策としました。

各地区に存在する特徴的な里山資源と施策の関係

地区	特徴的な里山資源※3	里山資源と関係性が強い施策				重点施策※4
		施策2	施策3		施策4	
		2-1	3-1	3-2	4-2	
天王地区：環境と生態系の保全再生エリア						
	天王峠のモミ・コナラ林（環境省 特定植物群落）	●				2-1
	生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）	●				
	天王のアカガシ（大阪府天然記念物）	●			●	
	能勢町天王・上山辺、剣尾山（大阪府生物多様性ホットスポット）	●			●	
	天王川 オオサンショウウオの生息地	●				
岐尼地区：棚田と三草山を中心とした里地里山保全エリア						
	三草山のナラガシワ林（環境省 特定植物群落）	●				2-1 3-2 4-2
	生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）	●				
	長谷の棚田（農林水産省 棚田百選）	●			●	
	八坂神社のシイ（大阪府天然記念物）				●	
	三草山（大阪府生物多様性ホットスポット、大阪府緑地環境保全地域）	●			●	
	里山林を利用したシイタケ栽培用の原木栽培			●		
	ゼフィルスの森	●			●	
	能勢町観光物産センター				●	
	能勢温泉や汐の湯温泉といった温泉施設				●	
	行者山 漁業組合のマス釣り				●	
久々地区：自然を親しむレクリエーションエリア						
	生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）	●				3-2 4-2
	自然アクティビティ 冒険の森inのせ				●	
	大阪府森林組合を中心とした里山ワークショップ			●	●	
	浄るりシアター				●	
歌垣地区：銀寄保全再生エリア						
	生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）	●				2-1 3-1 4-2
	銀寄ぐり原木母樹園（銀寄発祥の地）		●		●	
	クリ林再生プロジェクトの実施場所	●	●		●	
	ギフチョウ、キマダラルリツバメ等の希少なチョウ類や、ハチクマ等の猛禽類の生息地	●			●	
	倉垣天満宮のイチヨウ（大阪府天然記念物）				●	
田尻地区：里山資源活用エリア						
	生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）	●				3-2
	里山資源の産物「三白三黒」の地			●	●	
	田尻農産（直売所）				●	
東郷地区：歴史・文化エリア						
	能勢妙見山のブナ林（環境省 特定植物群落、大阪府天然記念物）	●			●	2-1 4-2
	生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）	●				
	野間の大ケヤキ（国指定天然記念物）、アオバズク、ケヤキ資料館	●			●	
	地黄湿地（大阪府生物多様性ホットスポット、大阪府緑地環境保全地域）	●			●	
	妙見山（大阪府生物多様性ホットスポット、大阪府自然環境保全地域）	●			●	
	能勢ケヤキの里（直売所）				●	
	野間神社、清普寺、地黄城跡、真如寺等の歴史的遺産				●	

●：里山資源と関係性の強い施策

●：里山資源ではないが、本戦略において重要な施設（グリーンツーリズムの訪問先となる等）と関係性の強い施策

※3 表に記載されていない施策は、町内全域を対象とする重点施策

※4 重点施策の番号は3ページと対応